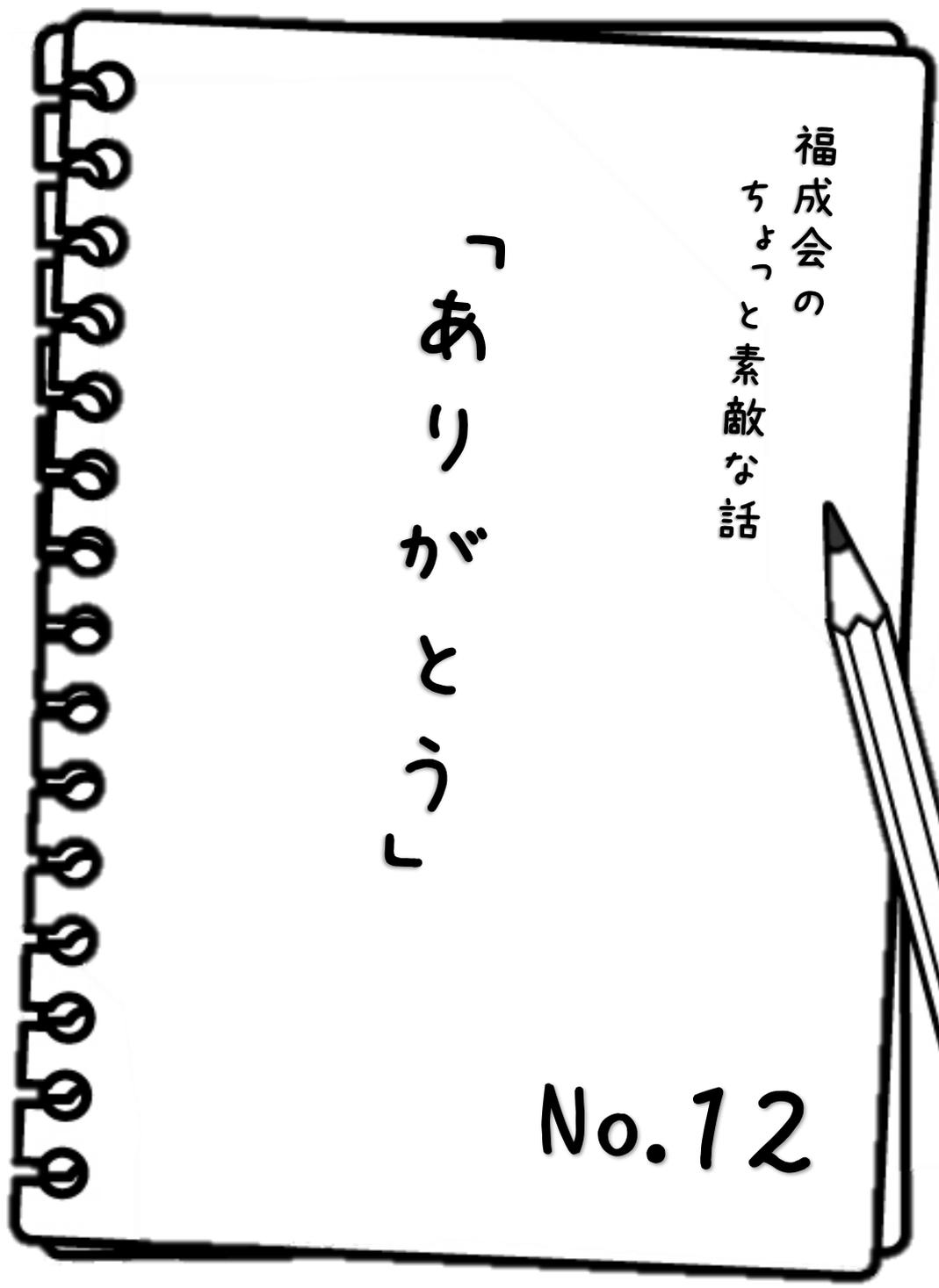


福成会の  
ちよつと素敵なお話

「ありがとう」

No.12



食べ物を噛むことができず、食べる時には丸呑みになってしまうAさんの話です。

昼食の時間をいつも楽しみにしているのですが、きざみ食を食べている時には、毎日むせてしまいます。

しかし、Aさんはむせた時に支援員が近づいてくるのは嫌なようで、「大丈夫」と顔を背けます。

食事用のとろみ剤を使うことが候補としてでしたが、味や食感が変わってしまうことはAさんも望まれないため、まずは食事をするための環境から整えることにしました。

理学療法士や栄養士と相談を進めながら足置きの高さ、食事を置くトレイの高さで姿勢の調節、お茶のタイミングなど環境面の検討や改善を日々続けていく内に、

とろみがなくても食事時間におせる頻度が減っていききました。

また、食事時間におせることで苦しそうな表情が減って笑顔の時間が増えたため、スタッフも安心していました。

ある日の食事時間にAさんが近づいてきて

「ありがとうございます！」と言われました。

この言葉は、私たちが笑顔にもなれるプレゼントとなりました。